

試験結果・分析

4つの盜難防止装置に対する分析



カーアラーム



ドアロック

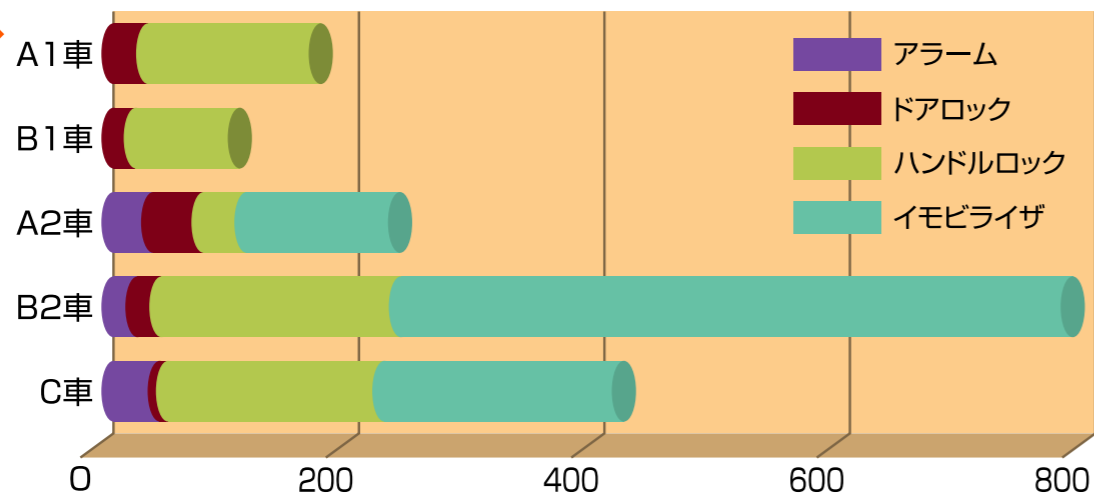


ハンドルロック



イモビライザ

耐久時間



※横軸の目盛りは、最も耐久時間(総合)が短かったB1車を100とした時の比率です。

効果の分析

このグラフは4つの盜難防止装置を無効化するのに要する時間を測定したものです。イモビライザは、偽造キーなどによる自動車の窃盜行為を不可能にするものですが、今回の試験結果から、無効化のための耐久時間のみに注目しても、イモビライザは最も高い防盜性能を発揮することが判明しました。

イモビライザの無効化は、自動車に対する高度な知識と技術を有する技術者が、一般には入手困難な専用部品を使用して行ったものであり、これを使用しない場合(身近な部品や道具のみ)の無効化は出来ませんでした。

盜難防止装置の防盜性能の効果の検証には、時間の他にも無効化に必要な装備や知識についても考慮する必要があります。

自動車の防盜性能評価調査研究結果

検証1

実車を使って耐久時間による車の防盜性能(盜まれにくさ)を検証した結果

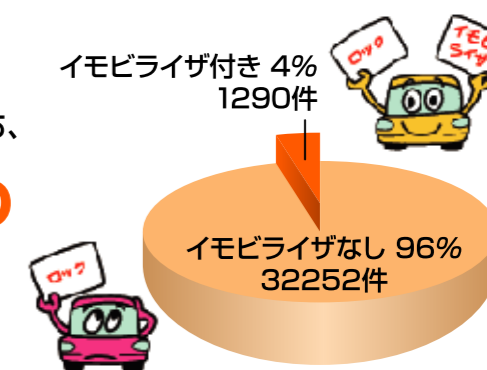
自動車盜難の防止にはイモビライザが高い防盜性能を発揮!



検証2

実際のデータを見ると、平成17年中に警察が認知したキーなしによる自動車盜難の認知件数のうち、

イモビライザ装着車の占める割合は約4%!



官民合同プロジェクトチームからのメッセージ

愛車の防犯、ここがポイントです。

- 愛車に気を配り(キーを抜いてドアロック!)
- 駐車に気を配り(明るく見通しの良い駐車場に)
- 優れた防盜性能を発揮する盜難防止装置の搭載を!

